

# 開催プログラム

10月5日(土)				10月6日(日)			
	パレアホール	会議室 7	会議室 8 ※		パレアホール	会議室 7	会議室 8 ※
9:00				9:00			
9:30				9:30	シンポジウム1 「伝統医学を科学する」 座長：酒谷薫	シンポジウム2 「天回医簡における漢代の医学～中医学の誕生・経絡の祖型と『黄帝内経』～」 座長：王財源	一般演題1 座長：木村朗子 「加味帰脾湯は認知症患者のBPSDを改善し、望ましい感情表現を回復させる」岩崎鋼 「腸癰湯を用いた治療によって慢性前立腺炎が改善した一例」藤田昌弘 「脾湿による起床時盗汗の一例」竹本喜典 「中医学を活用した女性の慢性腰痛予防の可能性を探る」渡邊真弓 「学生による中医学教育ネットワーク構築の一例」立花涼夏
10:00				10:00	「鍼灸と先端科学」高岡裕 「半夏のイガイガに対する生姜による消失メカニズム」牧野利明	「中国伝統医学における鍼灸文献の祖型について」王財源 「他の古医書資料と比較した漆塗り人形の経穴」島山奈緒子 「“天回医簡”の漆経脈人形の経脈について」猪飼祥夫	
10:30				10:30	「圏論・代数幾何学的な数理構造からなる「黄帝内経」と中医学の本質に関する一考」甲斐広文		
11:00				11:00			
11:30				11:30	休憩		
12:00							
12:45	開会式						
13:00	招待講演1 「中医学による認知症の臨床応用」 座長：清水雅行 演者：林源泉			13:00	招待講演3 伝統中医で限界を突破する 「火神派の診療における特徴的な症例」 座長：王曉明 演者：張存悌	鍼灸実技講演 「名人の至技」1 座長：瀬尾港二  「私の鍼灸」丸山衛士 「体表観察の重要性および毫鍼術・打鍼術」 藤本新風	一般演題2 座長：崔衣林 「繰り返しの夜間救急外来を受診する機能性ディスペプシアに対して鍼灸漢方治療が奏功した1例」笹松信吾 「入院中のCOVID-19感染によりADLが低下した患者への鍼治療」三谷直哉 「フィッシャー症候群に鍼灸治療が奏功した1症例」竹下有 「呑気症に対する鍼施術の可能性に関する考察」弓削周平 「臑中穴(CV17)単穴使用の研究動向の調査」八尋優子
13:30		教育講演 「鍼刺激によるホルモンコントロールの試み～スポーツ傷害への応用～」 座長：渡邊大祐 演者：山口由美子	指定演題 「Long-COVIDへの中医治療」 座長：加島雅之  「症例からみるLong-COVIDの“倦怠感”からの弁証フレームワークの考察」木村朗子 「肝気虚による難治性咳嗽（昼千万咳夜静）について」渡邊善一郎 「漢方エキス製剤を用いた中医弁証論治によるLong COVID治療」王曉東 「Long COVIDでの嗅覚障害の中医治療：症例集積研究」高資承	13:30			
14:00				14:00			
14:30				14:30		鍼灸実技講演 「名人の至技」2 座長：神谷哲治  「王富春教授の特徴的な鍼法と応用」王富春	
15:00	招待講演2 中西結合で限界を突破する 「中医学結合研究の重要な問題と実践的な探求」 座長：戴昭宇 演者：唐旭東			15:00	スポンサード講演 「漢方医学と中医学のはざままで」 座長：加島雅之 演者：安井廣迪		市民公開講座 「ツボを使ってセルフケア！睡眠・食欲・お通じを整えよう」 座長：瀬尾港二 演者：渡邊大祐
15:30		教育セッション 「被災者の「健康課題の見える化」と中医学～被災症例を通して、皆で弁証推論しよう～」 進行：石川家明 木村朗子		15:30			
16:00				16:00	閉会の挨拶 会頭：加島雅之		
16:30				16:30			
17:00	会頭講演 「中医学の叡智で限界を突破する～日本で突破すべき課題とそのヒント～」 座長：藤田康介 演者：加島雅之		学生講座 「学生に伝えたい中医学」 座長：成田響太  「中医鍼灸学のいろは！実践ツボ・バージョン」兵頭明 「中国との医学交流で学んだもの」平馬直樹				
17:30							
18:00							
18:30							
19:00							
19:30							
20:00							
20:30							

懇親会  
Felicia (フェリシア)

※ 会議室8は現地参加のみ、オンライン参加はできません。  
大会終了後、オンデマンド配信を予定しております。